

◎ 広報

川越

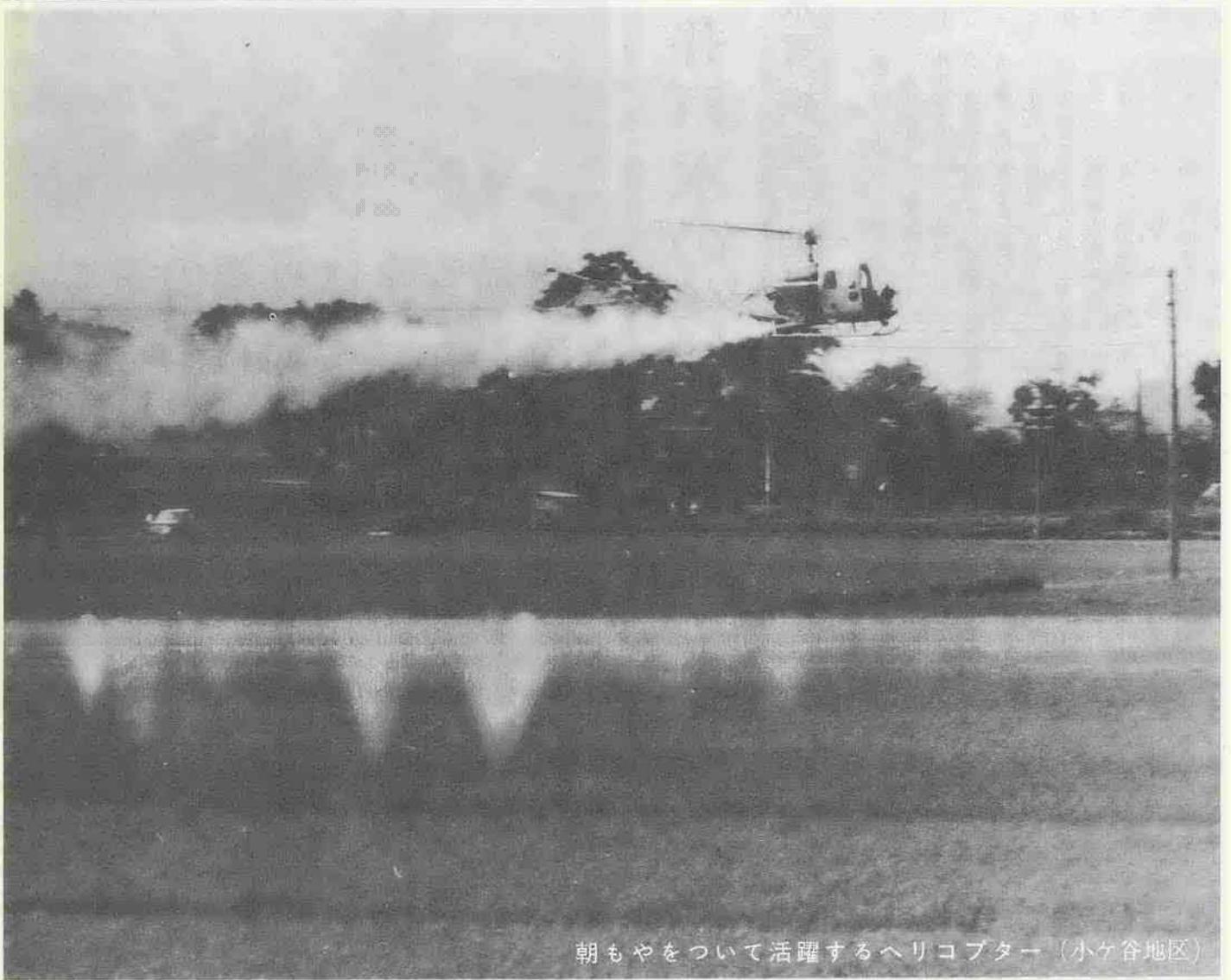
7月25日

No. 243

発行所 川越市役所 埼玉県川越市元町1丁目2番地 電話川越(0492)23-1450代 郵番350



八月五日から十一日まで
は食中毒予防週間です。
少しくさいがもつたいな
い……といつて、きのうの
のこりものや古くなったも
のを食べたりすると食中毒
の原因になります。また、
くさりやすいおかずをお弁
当に入れたりすることは、
絶対にさげましょう。



朝もやをついて活躍するヘリコプター (小ヶ谷地区)

空中散布で農作業の合理化

効果のあがる広域防除

ヘリコプターで、空から広い水田に白い農薬を散布する光景は、近代農業を象徴する雄大な姿といえるでしょう。

川越で水稲の病害虫防除と農家の労働力不足を解消する目的で空中散布を実施したのは、昭和三十七年からですが、当時は仙波耕地のみでした。その後、年々その面積を拡大し、昨年から市内全域の水田をはじめ、広域防除の必要性から、市の援助で堤防、河川敷、畔道などの雑草地にも、同時防除を行なうようになりました。

本年の防除面積は、六・七月・八月の三回で、延約五千ヘクタールにも及んでいます。空中散布は、短かい時間で、広大な面積に農薬を散布できるため、農家の労働力不足の解消や防除作業合理化の手段として近代農業には欠くことのできない重要なものとなっています。

とくに最近、水稲に大きな被害を与える害虫、ウンカが水田だけでなく、堤防や河川敷、雑草地などにも生息しているため、空中散布は、広域防除として大きな期待がかけられています。



〔街頭で交通安全を呼びかける母の会の人たち〕

交通安全は母親の手で みんなて参加しよう 中央大会

＝ 8月7日は市民会館ホールへ ＝

川越市交通安全母の会では、八月七日午後一時三十分から、市民会館ホールで「第二回川越市交通安全母の会中央大会」を開きます。

この大会は、年々増加する悲惨な交通事故を母親の手で防止しようとするもの、会ではおかささん方多数の出席を呼びかけています。誘い合せておでかけください。

小さいおこさんをいたいたい交通安全事故から守るには、なんといつても家庭でのしつけが大切です。

最近、学校や幼稚園で子どもの交通事故防止のための交通知識や交通安全ナーを、体験を通じて身につけさせ、習慣化するよう積極的な教育を行なっています。その関係からか、幼稚園や学校への登下校時の交通事故は比較的に少なくその反面下校後家庭やともだち遊びで、開放感や気のゆるみから起る交通事故が多くなっているようです。

この点からみても、子どもの交通事故の防止は、各家庭でのしつけがいかに大切であるかわかります。日常生活の中でも、こどもは母親の行動、しつけにもっとも影響されるようです。

こどもを交通事故から守るにはなんといつても、母親が交通ルールを守り、こどもの手本になるような行動をとることにしたいものです。

大会は、母親や家庭でこどもを預る立場の方々に、交通安全の思想と事故防止を喚起する目的で、交通安全施策の現況最近における、交通事故の概要、交通安全に関する意見発表、などを中心に、市内の小・中学校生徒から寄せられた、交通安全の作文、ポスターの入選発表、入選作文の朗読を行ないます。

なお、当日は参加者全員に大会の記念品をさしあげます。

ふえる井戸水の汚染

水質検査と消毒の励行を

つゆがあげ、本格的な夏になると、どちらの家庭でも水の需要が多くなります。ふる、洗濯、そして飲料水など夏は年間を通じて、もっとも多くの水が必要で、

水は私たちの生活から欠くことのできない大切なものですが、毎日使用していると、水の有難さや水の恐ろしさを忘れがちになります。とくに夏のなま水は、下痢や伝染病の発生につながることもありま

すので井戸水を使用されている家庭では、定期的な水質検査をすることが必要です。また新興住宅団地や部落などの共同水道ではせつかく消毒機をつけながら実際には消毒をしていないところも見受けられます。水質検査、塩素消毒は必ず実施するようにしましょう。

市では、人口の増加が非常に多い現状から、とくに水道施設の整備には力を注ぎ、市民すべてが水道を使って、衛生的で便利な生活を送ることができるよう努力を

しています。市の水道も、昭和四十四年度から、第三次の拡張工事にはいり、現在全戸給水を目指して急ピッチで工事を進めており、六月一日現在の給水戸数は約三万一千四百戸で、市内の約八十%の家庭が上水道を使用しているわけ、水道の普及率では全国平均を上まわっています。しかしまだ、残りの二〇%の家庭は井戸水を使用しています。

市の水道は、水道法に基づき

就職したら社会保険

国保は使用できません

農業や自営業を営み、市の国民健康保険に加入している方が、会社や工場に就職しますと、その翌日から、市の保険証は使用できなくなります。このような場合市の保険証は、市役所の保険課か出張所の窓口にお返し願うことになり

ます。

会社、工場などには、市にある国民健康保険と同じようなくみみ健康保険があって、就職すると翌日から、その保険に加入することになります。

保険料は給料から差し引かれませんが、会社の健康保険証は就職し

た日に、すぐみなさんに手渡されないので、病気で医者にかかりたいときにはたいへんこまることになり、就職したときは一日も早く健康保険証をもらうようにならなければなりません。

会社の健康保険証が手もとになくて、お医者にかかりたいときは一応会社や工場の係の方に相談してください。もしこのような場合市の国民健康保険を使いますと、市がお医者へ支払った医療費は、あとでお返ししていただくことになり、国民健康保険は使えないようご協力ください。

国民年金保険料

未納分は早急に

国民年金に加入し保険料をかけた方々に対する老齢年金の支給が、明後昭和四十六年度から始まり、最初に年金を受けるとは、保険料をかけた期間が十年で年齢が六十五歳になる方々です。支給される額は年間六万円です。しかしこの年金も、保険料が完全に納められていなければ支給されません。来年から保険料は一律に四百五十円に引上げられる予定ですが、今のうちですと未納保険料もいままでの保険料で納めることができます。とくに最初に年金の支給資格がある明治三十九年四

月二日から明治四十四年四月一日までに生まれた加入者で、未納保険料のある方は今のうちに納めておきましょう。

なお従前の保険料は次のとおりです。この保険料で納入する方は市役所保険年金課か所轄の出張所の窓口へ納入してください。

期間	年金別保険料	
	35歳未満	35歳以上
昭和36・41・41・12	100円	150円
昭和42・43・43・12	200円	250円
昭和44・1以降	250円	300円

いよいよ台風の季節

家庭の対策はいまのうちに

今年もいよいよ台風シーズンを迎えようとしています。そこで台風がきたとき、一般家庭でとるべき処置などについて考えてみましょう。

台風が近づいたとき、テレビやラジオの気象通報に注意し、家屋商人などがあらわれることがあるから注意する。

また貴重品は整理してまとめておき、食糧品や日用品、家庭常備薬などを用意すると同時に、避難する場所、経路なども調べておく。

気象警報が出たとき、停電に備えてあらかじめ準備しておいた懐中電灯、ロソクなどを再点検し、活動に便利な服装に着がえる。浸水が予想されるときは、家財を家の高いところに移しておく。

避難命令が出たとき、一人だけの避難は危険なので、家族全員で避難するように。暴風雨のときは、頭巾や座布団で頭を守る。避難するときは消防団員や警察官の指示に従い、冷静に行動する。

台風がすぎたあと、浸水のあとは、伝染病が発生しやすいので床下などを消毒する。また、被災者の弱味につけ込んで物品を不当に高く売りつける悪徳商人などがあらわれることがあるから注意する。

七月二十日から九月十日まで、市道一号线の舗装改修工事を行います。

工事区間は、元町一丁目二市役所角から松江町二丁目五十四佐久間旅館まで、時間は午後九時から翌朝六時までです。

工事期間中、この区間は夜間交通止めになりますのでご協力ください。

ボーフラを 駆除しよう

長かった梅雨もやっとあがりこ



（社会福祉事務所扱い）
▼福祉事業へ
▼マントレス
二台目末広町
三丁目四、安部秀雄さん、
▼オルガン一台目六軒町一丁目五、四、増田忠治さん
▼百円連雀町九一、浜中博助さん、
▼千円吉田清さん、
▼衣類川岸沢たまさん、
▼二千三百九十九円富士見中一年一組代表白石美恵子さん、
▼交通遺児へ
▼五千七百六十五円産経新聞社

10自警隊に新ポンプ配置

市ではこのほど可搬動力ポンプ10台を購入しました。これは古くなり性能が悪くなったポンプを更新したもので、大字鴨田、萱沼、牛子古市場、中福、小堤北、下広谷南・北、大居古谷本郷上の各自警隊に引き渡されました。

政治はあなたが主役です

市長選挙 投票日決る

市議補選

告示期日 9月4日

投票日 9月14日

川越市選挙管理委員会

＝ 8月は道路を守る月間です ＝

- ◇ 道路を愛しましょう
- ◇ 道路はみんなのもので、広くきれいに使しましょう
- ◇ 側溝や道路標識をきれいにしましょう

人口のうごき

人口	155,547人	(前年同期)	146,401人
男女	78,791人		76,756人
世帯数	40,529		40,529
転入	1,366	(6月中)	1,366
転出	582		582
出生	245		245
死亡	68		68
前月比	96.1%		

七月一日現在

中小企業退職金共済
新規加入者に補助金

市では、中小企業退職金共済制度に、新しく加入された業者に補助金を支給します。

この制度は小規模事業者の育成とそこで働く方々の職場への定着などを目的とし、従業員数が二十人以下の工業、五人以下の商業の事業者が対象です。なお、くわいことは市役所商工開発課(三三・四四・五〇内線二三)または商工会議所(二二・三三・四四)へお尋ねください。

市民体育祭水泳の部
申込は7月31日まで

第二十二回市民体育祭水泳の部が、八月十日午前九時から川越高校プールで開かれます。

出場できる方は、川越市に在住、在勤、在学している方で申込みは一人二種目(リレーは除く)以内で、出場を希望する方は七月三十一日までに、教育委員会保健体育課へお申し込みください。なお、小学校の部は八月十八日に仙波小学校プールで行なわれる予定です。

